

於吉野島

獨立陸軍第十聯隊第三大隊(步四九五)

將校戰死及生死不明者名簿

昭和三年九月五日

長田政吉部

(傳本國田風)

陸軍

戦況

陸軍

戦況

五七五

大尉 中込 三郎

大連方面に於ける戦況... 敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。享年三十二歳。戦死の日、敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。

五七三

大尉 中込 三郎

大連方面に於ける戦況... 敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。享年三十二歳。戦死の日、敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。

五七二

大尉 公文 六郎

大連方面に於ける戦況... 敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。享年三十二歳。戦死の日、敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。

五七六

大尉 堂本 信行

大連方面に於ける戦況... 敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。享年三十二歳。戦死の日、敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。

五七三

大尉 今井 利幹

大連方面に於ける戦況... 敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。享年三十二歳。戦死の日、敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。

五七〇

大尉 小岩 信男

大連方面に於ける戦況... 敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。享年三十二歳。戦死の日、敵軍の侵入を阻止すべく奮戦せしむる中、敵軍の銃火に当たり、胸部に重傷を負ひ、戦死す。

(戦況図田部)

19

1150

戦死

陸軍

五七三 大曾田修次

大曾田修次は、同隊の隊員として、於て左に陣取、指揮し、前線に陣取り、奮戦し、敵の砲火に及ばず、奮戦し、遂に敵軍を退け、戦死した。戦死した。戦死した。

五七三 望月義明

望月義明は、敵陣地を突破し、敵軍を退け、戦死した。戦死した。戦死した。

五七三 小林正雄

小林正雄は、敵軍の陣地を突破し、戦死した。戦死した。戦死した。

五七三 武田徳三

武田徳三は、敵軍の陣地を突破し、戦死した。戦死した。戦死した。

五七三 幡野善八郎

幡野善八郎は、敵軍の陣地を突破し、戦死した。戦死した。戦死した。

五八三 天野一郎

天野一郎は、敵軍の陣地を突破し、戦死した。戦死した。戦死した。

五八三 大塚正道

大塚正道は、敵軍の陣地を突破し、戦死した。戦死した。戦死した。

(戦死名簿)

1-10

1151



生死不明

陸軍

姓名

氏名

大尉

佐藤

佐藤

五七三

大市川清助

大市川清助 大尉 佐藤部隊(270) 師団司令部佐藤少佐  
指揮 小隊以下三夜田附近に於て敵陣地を通過 部下の指揮に上り交戦  
中 生死不明

五七三

大志岡茂樹

大志岡茂樹 大尉 佐藤部隊 行内 部隊 佐藤少佐の指揮に  
志し 指揮に平塚三三 自ら左翼 隊後より 十員 傷者 収容 三夜 田 中 敵 陣  
地 附近 交戦 衛生 文 及 隊 傷 者 十 餘 人 交 戦 中 十 五 元 死 不 明

五七三

大双代昌一

大双代昌一 大尉 佐藤部隊 於て 十員 傷者 十 餘 人 交 戦 中 十 五 元 死 不 明  
指揮に 隊列に 敵陣地 下り 交戦 中 十 五 元 死 不 明 隊 員 十 餘 人 交 戦 中 十 五 元 死 不 明

五七三

大豊見 多脚正助

大豊見 多脚正助 大尉 佐藤部隊 於て 十員 傷者 十 餘 人 交 戦 中 十 五 元 死 不 明  
左前之敵軍 迫る 陣地 船 隻 燒 却 中 三 前 進 困 難 中 該 敵 隊 員 十 餘 人 交 戦 中 十 五 元 死 不 明

(源流光國田原)

1-12

1153



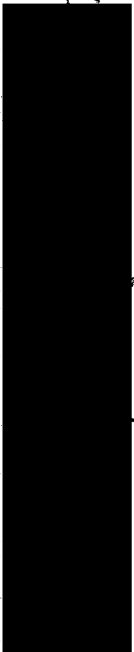






10/490			TA/490	TA/490	TA/490	隊屬所旧
補	二	二	五	二	三	次年集繳
一	一	一	上	一	一	級 借
大所 弘	遠 和 綱 男	牛 田 和 男	飯 島 悌 三	岩 手 國 吉 郎	今 村 康 雄	氏 名
東京都	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	新潟縣	留 守 担 当 者 任 所 氏 名
						摘 要

陸  
軍  
ノ

(昭和元年四月)

1-13

1154

			10/kan	TA/kan		TA/kan
五	天	補	天	天	天	天
具	一	一	一	一	一	一
鈴木止義	清水三三三	佐野止義	南木國夫	山松明賢	草柳清治	川口武雄
	東京都 	新潟縣 	新潟縣 	新潟縣 	新潟縣 	新潟縣 

(納宗先國可照)

1-14

1155

陸軍 (2)

TA/kqi		TA/kqi				
一	一	一	一	一	補一	補一
宮下静雄	宮下義全	馬淵實造	野田政昭	中山邦人	遠山徳治	杉本九市
新潟	新潟	新潟	新潟	東京	新潟	新潟
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

陸  
軍  
(3)

(明徳元國軍)

1-15



						<p>吉上</p>
					<p>吉上 山澤山明</p>	<p>吉上 渡邊武三郎</p>
					<p>[Redacted]</p>	<p>吉上 [Redacted]</p>
					<p>吉上 吉澤清</p>	<p>陸軍 (4)</p>

(納本堂國田屋)

1-16

1157

新隊員縁通修者 (一〇町内)

相馬 太兵衛 其四	白倉 義男 其五	明堂 清助 其六	梅原 謙 其七	宮崎 某 其八	深澤 某 其九	石田 某 其十	大銀 某 其十一
吉屋 勝 其十二	相原 文也 其十三	多田 宗憲 其十四	水垣 清雄 其十五	山本 某 其十六	大竹 一男 其十七	今井 利郎 其十八	山内 某 其十九
						中越 幸造 其二十	藤野 某 其二十一
						多田 某 其二十二	望月 某 其二十三
						大瀬 某 其二十四	

陸軍

1-17

1158

(明治元禄田原)

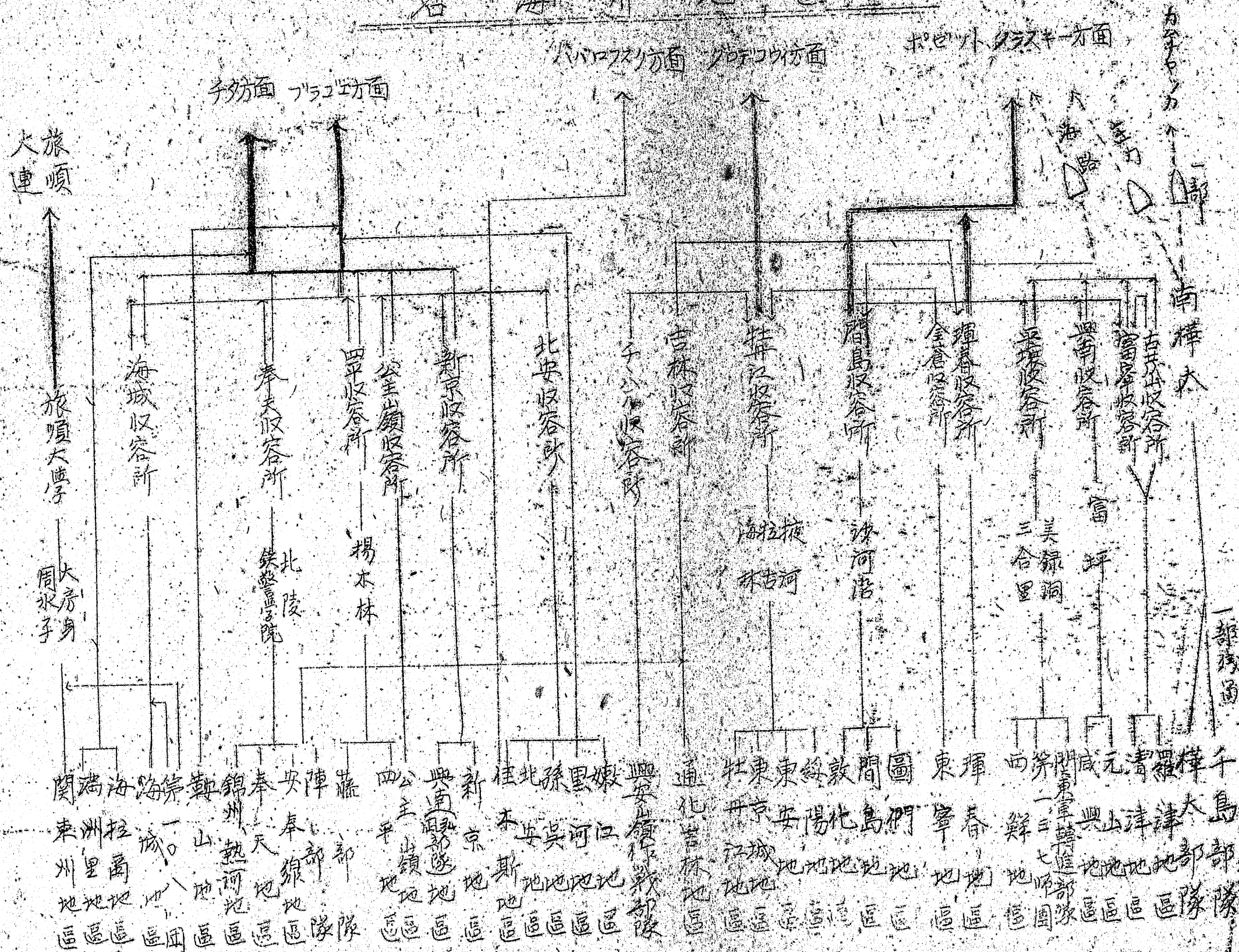
獨立混成第十聯隊人員明細表

人員計	存			生			期不死生			死			戰	相稱 數能	本隊
	計	兵	下	計	兵	下	計	兵	下	計	兵	下			
56	3	2	1		27	20	3	4	22	11	7	4			本隊
35	4	3	1		11	6	3	2	20	10	6	4	35		AB
104	16	10	5	1	26	26			62	47	12	3	104	4	
106	6	6			56	46	8	2	44	29	12	3	106	5	
(2)	(2)	(2)													II
106	16	12	4		32	27	5		58	45	9	4	108	6	
(5)	(5)	(4)	(1)												
119	23	16	7		28	23	5		68	57	8	3	114	21	
(13)	(12)	(10)	(3)												
76	8	6	2		7	7			61	48	10	3	78	21A	
(7)	(7)	(8)	(1)												
546	73	54	18	1	160	135	21	4	313	236	57	20	555	計	
(17)	(11)	(11)	(1)												
39	6	2	2	2	23	13	6	4	10	6	2	2	40	AB	
92	5(1)	5(1)			36	33	3		51	36	12	3	105	7	
95	10	7	3		64	59	4	1	21	14	5	2	105	8	
92	1	1			53	45	8		15	10	4	4	105	9	III
(12)	(12)	(12)													
104	11	9	2		43	35	6	2	50	40	9	1	120	31A	
58	3	3			43	35	4	1	12	9	2	1	80	31A	
(4)	(4)	(3)	(1)												
460	36	27	9	2	262	223	31	8	162	115	34	13	555	計	
51	3	1	2						48	29	10	9	75	AB	
(11)									(11)	(11)					
64	3	2	1		5	3	1	1	56	44	9	3	87	7	
63	1		1						62	47	11	4	86	8	A
20									20	8	8	4	86	9	
(11)									(11)	(11)					
198	7	3	4		5	3	1	1	186	128	35	20	334	計	
45	6	6			27	24	5		10	6	3	1		ITL	
41	3	2	1		18	16	2	1	20	19	1			P	
(13)	(13)	(10)	(2)						(11)	(11)					
1345	128	93	32	3	521	421	63	18	713	515	140	58		計合	

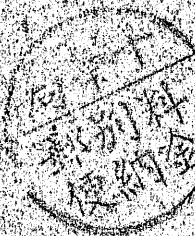
備考  
(1) 內 八 歸 國 者  
(2) 內 水 軍 収 容 所 内 死 亡 者



沿海州地區



鮮滿部隊抑留者連行經路及收容先一覽表



山梨県



警務課  
新島課

公用

1161

謹啓 時下尙寒さ烈しく御座居ますか御變りは御座居ませんか御伺ひ申  
 上げます扱て私共は昨秋復員勿々業務整理に取りかかりました所御熱誠  
 なる御援助を賜り誠に感謝に堪えません御蔭様にて本月末迄に大部の整  
 理を完了致す事と相成りました是偏に皆様の献身的御協力の賜物に外な  
 らず厚く御禮を申上げます尙所金通帳再發行の處理事務は引續き行  
 ふ事と致して居ります又豫て御話し申上げて置きました無名戦士の遺骨  
 は三月下旬名古屋市内に埋葬致す事に決定致しましたから御承知を御願ひ  
 致します  
 茲に業務整理の大部を終るに當り主仕者として厚く御禮を申上げますと  
 共に今後に置きましても萬般に且り特別の御交誼と御援助を賜り度く御  
 願申上げます  
 尙寒さの砌り切に各位の御自重御自愛を御祈り致します  
 二月二十七日

武田英之

特 史

武 田 英 之

1-21





山梨縣



收

千葉市小仲台町  
留守業務局島嶼課  
中部太平洋班

1-22

1163

一人等書類調製ニ就テ

一、書類調製上 必要ニ付テ同封履歴書用紙

ニ記入シ、上當班宛ト急送附下テ

二、般位撤消ニ就テ

本島地ニ於テ言書トテ急送ニ付テ

シマス、テ各地方世話部扶助課宛ト急送履歴

書ヲ移行（箱山）上御送附下サシ

三、本館ニ保管ヲ依頼セル貯金通帳ニ就テ

タム島ニテ米屋ニ委託シテ依頼セル貯金通帳

ハ本年十二月十日付迄ニハ本館内地ニハ至

幾シテ居リマセシ近々通信ヨリ各地郵便

局ニテ通帳再交付ノ手續ガ出来ル様告示ガ

出シ取テスルヲ一應急送シ、通帳受領証ヲ提

四、取合セ下サシ

ル方ハ最速ヨリ、地ニ世話部ニ提出シテソノ

指示ヲ仰イテサシ

訂査ノ結果日本銀行力ヲ支拂ハシマス

細部ハ支取有没行ノ新聞廣告ガ地方世話部

地方世話部經理部ニ申請會合サシ

上島市河毛

留止事務司島嶼課

事務司島嶼課經理班

123

1164

- 1 氏名
- 2 生年月日
- 3 元所属部隊名
- 4 役種
- 5 兵種
- 6 位階
- 7 現官等
- 8 現官進級(在官)  
(死没者の上の進級「在官」を除く)
- 9 出身別
- 10 本籍地  
(陸士少候何期を待志幹候に在りしは採用次を記入)
- 11 敵系に著したる  
年 月 日
- 12 敵手に著したる  
當時の状況  
(可成詳細に)

13 衛生部獣医部見習官不在は免許証の有無を備考に  
附年月日

(免許証不明の場合には最終學校名及卒業年月日)



著者		三月三日
受信者		時分
山梨地方本部		分
又領橙		分
五七隊兵部		分
隊出口中尉遺骨		分
右受給也		分
者信發		地信發
何		於
島嶼中隊大平海軍		
開事務		

1166

1-25

歩兵第四十九聯隊第三七隊（獨混十聯隊第三七隊）

關係調査書類

- 一、歩四九某三隊 戰時口入留守担当者名簿（學令田修六）
- 二、第三七隊關係（死者）連名簿
- 三、歩四九某三隊轉屬者連名簿
- 四、分イ抑留者名簿
- 五、戦死者功績別次名簿（將校准下号）
- 六、有隊別生還者名簿

昭和三年五月五日調

長田政吉郎



(● 赤丸印)

1-26

橋岡元、北条以菊に渡す

北条時義 一般士隊 1. { 1名  
2名  
iA 士隊 1. (iA.

奇兵衛備隊 一般士隊 1. iA. M.G. 一部高

614

川口港 = 於て 高橋義平 (轉修橋)

東京港 = 於て 橋本 守 (山梨南都府川見村)

1194 湯山 抗原 治 助 (南都府長原村)

" 向井 和 治 (北都府 181 番)

19. 2. 25

北条 - ハルヒコ - 義平 - 麓山

19. 3. 3

麓山 - 川口 - 湖内海 - 東京港

19. 3. 12

東京 - 伊豆七島 - ハルヒコ - 川口

19. 3. 23

1-27

1168



出 八月 134, 40

時. 16.000

(455) 借 15203 部

安部 629 部

( ) 19, 10, 10

1. 調査印隊 4p. 3b

1. 秘跡、時、情、向、新、録

1-28

1169

抑留者ノ近況

一、グワム島ハ面積淡路島大。南部及北部ニ密林アリ氣候ハ微風アリテ朝夕涼内地七月ヨリハ凌キ易ク傳染病ナク保健地ナリ

二、アイランド。コンマンドースタツケード

三、主トシテグリム島守備部隊將兵一部

四、メーシスタツケード

五、主トシテロタ島守備部隊將兵一部トラツク衛生部員（患者輸送者）及ヤツブ島下士官兵

六、グワム島將校（准士官待遇者以上）ヲ同收容所内ニ別個ニ收容ス

七、ニコースタツケード

戦犯容疑者

八、トラツク。スタツケード（假名）

九、イトラツク其ノ他諸島ノ抑留者ヲ收容スル爲メ建設中ノ模様

四、收容所アリ

三、抑留者數（昭二一。六。一五現在軍屬ヲ含ム概數）

一、グワム島守備部隊

將校

陸軍

海軍

計



抑留者ノ勞働狀況 俘後ノ勞働ノ部

現在八時間勞働ニテ主トシテ貨物ノ積載卸下、道路、農圃及清掃等ノ作業、一部技術者ハ建築治療等ニ從事勞働程度ハ中程度ナリ日曜日ハ休業  
抑留者ニ對スル給與

1、給料、下士官兵ハ日給正味八〇セント程度ヲ將校ハ階級ニヨリ區分支給  
歸還時小切手ヲ以テ支拂

2、食糧、米貨入荷ノ情況ニ依リ差異ナルモ普通朝晝食ハパン夕食ハ米食  
ニシテ(量、質共)内地現情ニ比シ良好ナリ、シケ月前日本軍糧秣到着  
シ支給シアリ

3、被服、各人上衣、袴、シャツ其他襪ネニ着布ヲ給セラレ不自由ナシ  
4、居住、四十名程度收容所ノ天幕床張ニシテ善

5、衛生、各收容所ニ治療所病室他ニ病院アリテ不軍及日本軍軍醫治療ニ當  
リアリ 炊事場等ニ便所ハ清潔ニシテ外傷患者ヲ除キ現在迄殆ド傳染病  
患者ナシ

6、酒保品、現在給料中ヨリ月三弗ノチケットヲ文給日用品ヲ購入シアリテ  
格別ノ不自由ナシ煙草ハ各適當ノ方法ニヨリ入手シアリ

英等 一週一屆 後開演藝會及橋本一 同映演アリ 斷審 基 將棋

ヲ作製實施シアリ

3、運動、排球、卓球、キヤッチボール等ヲ行ヒハ會ヲ準備スルコトアリ

9、讀書、主トシテ米書籍ニヨリ英語研究日本書籍ヲ渴望シアリ

7、8、ハ「クリム」將校ハ實施セズ「ロタ」演藝會ヲ實施セズ

◎生活ニ就テハ特別ノ不自由ナク健康ニシテ内地 般人ヨリハ体格良好ニシ

テ元氣ナリ

1、歸還時期ヲ編首シアリ（東上照會セルモ歸還時期ニ就イテハ米軍當局ノ

指示ニヨル他ナク復員局ニ於テモ不明極力奔在中）

2、内地事情ニ就キテハ米紙及雜誌ニヨリ承知スハ範圍ニシテ家庭ノ安否ヲ

懸念シアリ

クリム歸ヨリノ通信連絡ハ成シ得ルモ一部將兵ハ等狀ノ内容及英譯等ノ

煩雜ヲ考慮シ差出サルモノアリ（上官ヨリハ家庭事情ヲ考慮努メテ差出

如ク薦メラレアリ）小官本年二月下旬差出ノモノ且下旬到着セリ

内地ヨリノ通信ハ昨年九月發信ノモノ及其後一部到着セルノミニシテ

寂莫ヲ感ジアリ

（内地ヨリノ通信連絡ニ付イテハ復員局及留守業務局ニテ考究米軍へ交

涉中）

他

1. グリム、口名兩島守備部隊現在殘留者ニハ戰犯容疑者ナシ

2. グリム島ヨリノ歸還者上陸地ハ概ネ名古屋、大竹ナルモ都合上他ノ上陸

地ニ到着スルコトアルヲ以テ豫メ各上陸地支局宛歸還者住所(特ニ移動

セテレン御家庭ハ)ヲ通知シ置カレタシ

從來上陸地ヨリノ電報ハ至急電報ニテモ本人ヨリモ後刻ニ到着ス

生還者總提出及ビ金銭給與上必要ニ付死亡告知書(公報)及留守宅渡

金ノ最終月日及金額ヲソレソレ調査シ置カレタシ

歸還者住所迄ノ旅費辨當外食券等及必要被服ハ上陸地ニテ支給セラレ

手荷物ハ相當量大ナルヲ以テ到着月日判明セバ驛迄出迎相成リタシ

(通常復員列車使用)

格別注意を要するものありて、その旨を各関係機関に通知し、必要に応じて  
大分府内にも注意を要するものあり、その旨を各関係機関に通知し、必要に応じて

1-31



了 追記

拜啓愈々御清邁の段何よりと存じ上げます  
扱て突然にて甚だ失禮とは存じますが未復員者の資料調査の爲御照會申上  
げます

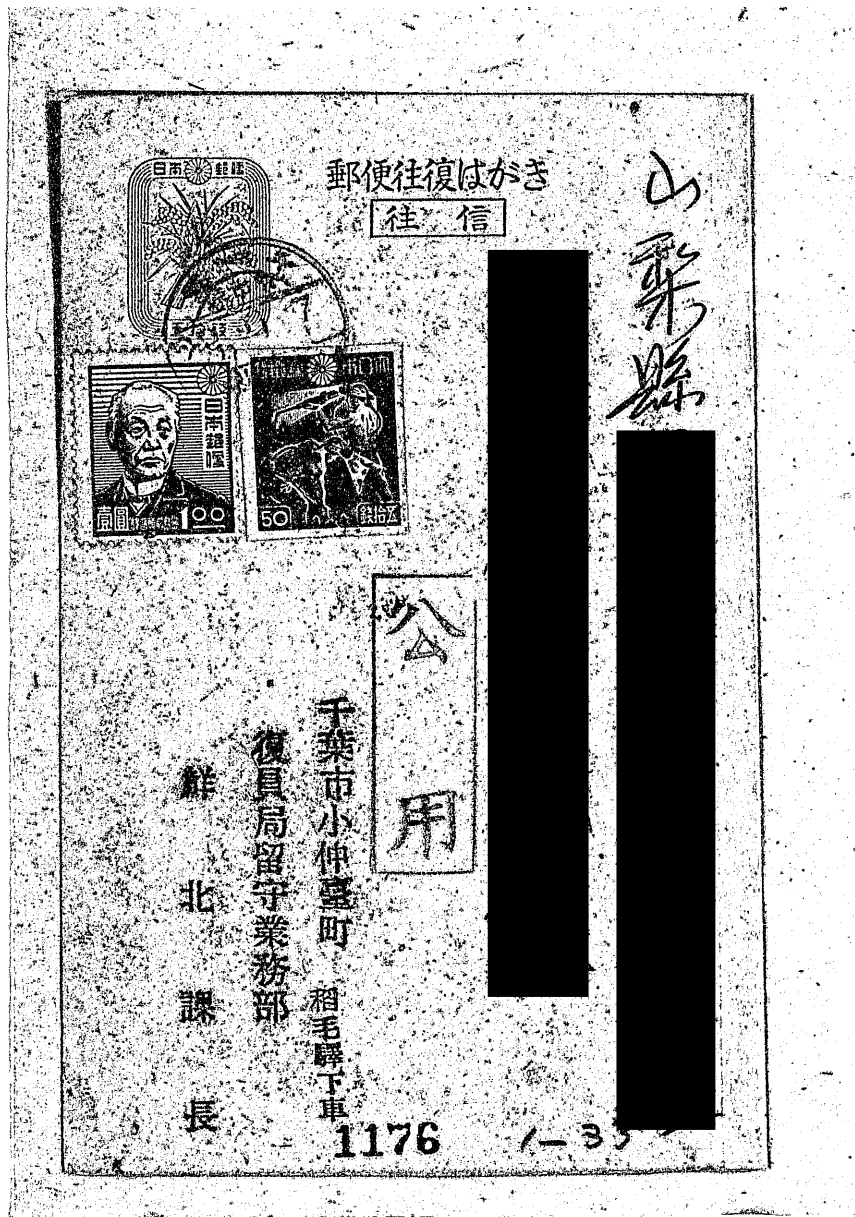
實は(前記)に應召された左記未復員者の消息について目下極力調査  
中ですが確實なる資料なく状況一切不明の爲調査に困却致してゐる實狀  
でありまして應召時貴殿と同所屬部隊と推察致しますので誠に御手致乍  
ら本人及當時部隊の状況等について御記憶の範圍一切御一報下され度儘局  
として遺家族の爲各方面に亘つて全力を上げて調査究明中にて何分共に  
御協力の程御願ひ致します(故人の御遺族の御事情も併せて御知らせ願ひます尙返信

追て乗船名及遭難の場合は其の状況も併せて御知らせ願ひます尙返信  
用封筒及郵便切手を同封いたしておきましたから御使用願ひます  
昭和昭和廿五年九月廿八日 留守業務部第四課整理班

左記

本籍地 山形県  
所屬部隊 湯川野八八部隊(歩三三九)  
官等級氏名 上等兵 長田 友吉

山形県 湯川野八八部隊  
歩三三九 長田 友吉



郵便往復はがき  
往信

山梨県



公用

千葉市小仲臺町 稻毛驛下車  
復員局留守業務部  
鮮北課長

1176

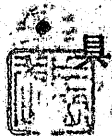
1-35

謹啓 終戦後早や三年の月日は経過し貴殿には平和國家  
 再建に御奮斗の事と推察申上げます。  
 扱當部に於ては未復員の御消息に就き全力を竭げ調査を  
 致して居りますが殊にもと滿洲朝鮮より南方に轉用にな  
 った左記部隊で移動の時滿鮮に又移動の途中に於て殘置  
 (轉屬)せられた方々の消息が判明せず大いに困却して  
 ゐる次第であります。そこで特に貴殿の御協力を得て之  
 が調査を進め度いと存じますので返信の記載事項に就き  
 御記入の上御通知下さる様御願申上げる次第であります  
 御繁忙中かゝる煩鎖な御願は甚だ恐縮の至りで御座居ま  
 すが何卒御援助御協力の程を切に御願申上げます。

調査部隊名

昭和廿九年九月拾一日

敬具



1177

1-34

# 大宮島略圖

約25000  
約1里



1-35

1178